

公益社団法人 宗像市シルバー人材センター
令和 7 年度事業報告

1 事業概要

ポストコロナ禍の時代を迎え、人の移動や経済活動は活気を取り戻してきましたが、その一方で、対面の機会が減った影響や生活様式の多様化により、人と人とのつながりの在り方は大きく変化しています。さらに、近年の高温、大雨など異常気象の頻発や物価高騰といった社会的課題が重なり、地域の支え合いの仕組みがこれまで以上に求められています。こうした中、宗像市シルバー人材センター（センター）は、高齢者の経験と知恵を地域に生かす重要な役割を担っています。

そのような中センターの令和 7 年度受注実績は契約額 423,486 千円、前年比 21,831 千円の増額となりました。

会員数は 588 人と前年度比 2 人の増加となりました。
入会者は 75 人で前年度の 85 人より 10 人減少しましたが、退会者は 73 人で前年度の 91 人より 18 人減少しました。

また、会員の平均年齢は 74.7 歳(前年度 74.2 歳)となり、会員の高齢化が進んでいます。

次に事業の収益は前年比 17,934 千円の増益となり、当期一般正味財産は 3,266 千円の増加となりました。

指定管理業務においては、赤間駅北口自転車駐車場及び自動車駐車場の駐車サービス券の注文件数の増加が利用料金の増加につながりました。しかし、人件費の上昇や物価高により、精算機の保守料金など、施設管理の必要経費が値上がりしたため、経費の削減や軽減ができるものを見直し、適切な管理ができるよう努めました。

市が進める高齢者在宅支援となる家事援助事業は、前年度と比較すると受注件数と受注額が増加しました。

令和 8 年度も家事援助の依頼が増えることが予想されますが、従事できる女性会員の確保が進んでおらず、その対策を急ぐ必要があります。

屋外作業では会員の高齢化と新たな会員の確保が進まず、剪定、除草は受注件数と契約金額が前年度より減少しました。草刈は受注件数、受注額がともに前年度より増加しました。

派遣事業においては契約件数が 2 件の減少となりました。

最後に「安全はすべてに優先する。」とするシルバーの基幹である安全就業状況では、事故件数が 9 件、前年度と比較すると 2 件増加しました。

このことから、安全委員会で事故検証を行い、安全対策計画に基づき今後

も、この計画を確実に実行することで事故抑制を図ります。

2 令和7年度実績

(1) 受注件数	1, 456件	(23件の減)
(2) 契約金額	423, 486千円	(21, 831千円の増)
(3) 就業実人員	538人	(60人の減)
(4) 会員数	588人	(2人の増)
() 内は令和6年度実績との比較		

(事業実績)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援事業（公益目的事業）

1 就業機会提供等事業

(1) 受託事業（一般）

受託事業は屋外作業会員の減少が進むなか、駐輪場や施設管理等の屋内管理作業を希望する会員が増加しています。また、課題である家事援助事業に従事する女性会員の確保のため、センターが行う受託内容を周知し、就業開拓活動と併せて入会希望者への個別相談を行い、入会機会の充実に図りました。

① 就業開拓

- ・公式ホームページを活用し、シルバーの情報提供の拡充を図りました。

② 就業機会の拡大

- ・入会説明会をセンターの他、河東地区と東郷地区のコミセンで月2回ずつ開催し、受講機会の充実に図りました。
- ・入会希望者には、入会説明会後の個別相談を実施し、就業への理解を深めました。
- ・各種広報紙の活用やホームページによるセンターの情報発信を行いました。

令和7年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
420人	52,112人	89.3%	298,228千円

(2) 受託事業（業務委託）

宗像市指定管理者制度の赤間駅と東郷駅の自転車等駐車場及び自動車駐

車場の運営管理を実施しました。

また、赤間駅周辺及び東郷駅の清掃活動を定期的実施し、地域貢献に努めました。

令和 7 年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
53 人	6,405 人	100%	85,289 千円

(3) 独自事業

会員の知識・経験・能力を生かした独自の創意と工夫により、次の事業を実施しました。

- ① 週 2 回、会員 4 名を講師として、習熟度に応じたパソコン教室を開催し、延 67 人が受講しました。

令和 7 年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
4 人	32 人	100%	391 千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就職を斡旋する。また、求人・就職の取り扱いについては、職業安定機関と連携し、雇用情報の収集、情報交換を行いました。

2 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員に対し、就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援を行いました。また、派遣労働を希望する会員とマッチングを行い、就業機会の拡大を図りました。

令和 7 年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
61 人	7,136 人	100%	39,578 千円

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等を行いました。

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① ホームページで入会に関する情報や求人情報の発信を行いました。
- ② 就業開拓員によるチラシ配布により、入会に関する情報や求人情報の発信を行いました。

(2) 社会参加活動・ボランティア活動の参加

- ① センター内の花壇に花を植栽しました。
- ② 河川愛護活動として釣川クリーン作戦に参加しました。
- ③ さつき松原アダプト・プログラム等に参加(年2回)
さつき松原内の割り当て区域(3,800 m²)の草刈り活動に延べ46人が参加し、松木の育成活動を行いました。

(3) 地域交流活動

職群班(管理2班)による赤間駅周辺及び東郷駅の清掃活動を年5回実施し、延べ68人が参加しました。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

「安全は全てに優先する」を合言葉に、令和7年度の安全就業対策計画に基づいて、安全・適正就業に取り組みました。結果として9件の事故が発生し、重篤につながる事故はなかったものの、前年度からは2件増加しました。

① 全ての会員に安全意識浸透の徹底

令和7年度安全・適正就業実施計画に定める安全対策を、職群班会議等を通して、各班で取り組みました。

② 作業別安全就業基準の遵守の徹底

事故「ゼロ」を目標に安全適正就業の強化に取り組みました。特に現場の事前確認、始業前ミーティング、保護帽子の着用や使用器具点検を実施しました。

③ 熱中症対策の機器導入

屋外作業となるリサイクルの現場には夏季期間にスポットクーラー、ミストシャワーを設置しました。また熱中症を回避する目安として、草刈、除草作業の各班に熱中症計を配布しました。

(2) 適正就業の徹底

- ① 適正就業推進規程に基づく就業について、委託契約書に定める内容の確認を、事業所訪問や会員からの聞き取り等を行うことで、適正化を図りました。
- ② 毎月の出勤シフト表等で適正基準内就業（月10日、80時間、週20時間）の確認を行いました。
- ③ 適正就業推進規程に基づく就業調整として、公開募集を年2回（4月と10月）実施しました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び地域の高齢者を対象に、随時、来訪や電話等により就業相談を実施しました。

(2) 入会説明会の開催

入会希望者を対象にセンターの他、河東地区と東郷地区のコミセンで毎月2回ずつ開催しました。同時に、参加者に対して個別に相談時間を設けて理解を深めました。

また、開催日時はチラシや市広報紙、ホームページ等で周知を図りました。

令和7年度は12月に、福岡県生涯現役チャレンジセンターと共催で、宗像ユリックスにて、「シニアのためのしごと相談セミナー」を開催しました。

4 研修・講習事業

- (1) 会員互助会と協賛で接遇マナー研修会を開催し、100名の参加がありました。
- (2) 職員の資質の向上を図るため、専門研修を中心に計4回参加しました。